

科目ナンバー	EDU-2-025-j	科目名	生活科教育法		
教員名	峯岸 由治	開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	本授業は、以下の内容をグループワークによって行う。1.指導案並びにVTRによる生活科授業の観察と分析、教科書に見られる活動や体験の抽出を行い、児童の気付きを促す活動や体験の構成と関連を考える。2. 実践記録を分析し、児童の「思いや願い」を生かし、気付きを促す生活科授業の構成方法を考える。3. 模擬授業の実施と質問紙による授業評価並びに授業者評価を行い、授業評価に基づく授業研究を行う。				
到達目標	1. 小学校教育における生活科教育の性格・意義を理解し、説明できる。2. 生活科の授業を構成し実践できる。				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○
教授法及び課題のフィードバック方法	本授業は、グループワークによって、指導案並びにVTRによる生活科授業の観察と分析、教科書に見られる活動や体験の抽出、実践記録の分析、模擬授業の実施と質問紙による授業評価並びに授業者評価、授業評価に基づく授業研究を行う。なお、本授業は、短い期間で指導案を作成し、模擬授業を実施します。したがって、興味のある生活科指導案、生活科授業記録などを用意し、授業の構想を練っておくことを希望します。				
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	特になし				
アセスメントポリシー及び評価方法	授業への参加態度、演習課題の提出、生活科学習指導案の作成などに基づいて総合的に評価する。				
教材	『小学校学習指導要領』、『小学校学習指導要領解説 生活編』、その他適宜プリントを配布する。				
参考図書	Donna M.Wolfinger & James W.Stockard Jr 完訳 黒上晴夫『総合カリキュラム 理論から評価まで』日本文教出版佐々木勝男・小川修一『こうすればできる!授業の技術と実践 生活科1・2年』ルック				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	生活科授業の観察と分析① 講義計画を説明するとともに、生活科授業の分析視点を検討する。				
授業外学修内容	資料を読む			時間数	
2週目					
授業学修内容	生活科授業の観察と分析②「手のはなし」の授業記録をもとに、授業を分析する。				
授業外学修内容	「手のはなし」の授業構造を整理する			時間数	0.5
3週目					
授業学修内容	生活科授業の観察と分析③ 生活科授業をVTRにより観察し、活動や体験の構成と関連を視点に検討する。				
授業外学修内容	生活科指導案を読む			時間数	1
4週目					
授業学修内容	生活科授業の観察と分析④ 観察した生活科授業を、児童の気付いた内容と動くおもちゃの原理との関連で検討する。				
授業外学修内容	逐語録を読む。			時間数	1
5週目					
授業学修内容	授業設計と学習指導案① 授業の設計仮説である学習指導案の構成について解説する				
授業外学修内容	公開されている生活科指導案を調べる			時間数	0.5

6週目			
授業学修内容	生活科教科書に見られる学習活動の構成① 生活科教科書に見られる学習活動の構成と関連について、分析・検討する。		
授業外学修内容	生活科教科書を調べ、学習活動の構成を読み取る	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	生活科教科書に見られる学習活動の構成② 生活科教科書に見られる表現活動の意義について解説する。		
授業外学修内容	生活科で活用されている表現活動を調べる	時間数	1
8週目			
授業学修内容	授業設計と学習指導案② 指導計画並びに本時の展開計画における学習活動の設定について解説する。		
授業外学修内容	指導計画を作成する	時間数	1
9週目			
授業学修内容	「動くおもちゃ」の授業設計①「動くおもちゃ」の原理を調べ、活動や体験の構成を検討する。		
授業外学修内容	公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	授業設計と学習指導案③ 教材観や指導観の内容、書き方について解説する。		
授業外学修内容	教材観・指導観を書く	時間数	1
11週目			
授業学修内容	「動くおもちゃ」の授業設計②「動くおもちゃ」の授業を設計する。		
授業外学修内容	公開されている指導案を比較し、授業構成を検討する	時間数	1
12週目			
授業学修内容	授業設計と学習指導案④ 目標と評価規準の意味、書き方について解説する。		
授業外学修内容	目標・評価規準を書く	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	生活科授業の実践と評価 学習者評価、授業評価の方法と実際とを解説する。		
授業外学修内容	生活科の評価について調べる	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	模擬授業の実施と授業研究① 模擬授業を実施し、授業評価を行う。		
授業外学修内容	模擬授業指導案を読む	時間数	0.5
15週目			
授業学修内容	模擬授業の実施と授業研究② 模擬授業を実施し、授業評価を行う。		
授業外学修内容	模擬授業指導案を読む	時間数	0.5
上記の授業外学修時間の合計		10	
その他に必要な自習時間		50	

Number	EDU-2-025-j	Subject	Methodology for Teaching Primary Level Life Sciences		
Name	峯岸 由治 (Minegishi Yoshiharu)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
	In this class, we will observation and analysis of lesson by VTR and teaching plan, extract activity and an experience from a textbook and think about the constitution of activity and the experience to plan the understanding of the child. We will analyze the record, think about how to constr				

Course outline	Objectives: • Conduct classes to understand children. • Implementation of simulated lessons, assessment of classes using questionnaires, and evaluation of class participants, study lesson based on lessons evaluation.
-------------------	--